

★下記の行事が中止となりました（本部・教区・支部）

- ・立教 183 年（令和 2 年）3 月 25 日（水）おたすけのためのひのきしんスクール
「認知症の人のところと家族の気持ちに寄り添う」
- ・立教 183 年（令和 2 年）3 月 26 日（木）天理ファミリーネットワーク主催 公開講座
「ひきこもりを乗り越えて ～自身の経験から思うこと～」
- ・松原支部本部月次祭参拝車両運行 << 3 月 26 日分は中止とさせていただきます >>
- ・立教 183 年（令和 2 年）3 月 27 日（金） 公開講座バリデーションに学ぶ（大阪教務支庁）
- ・婦人会 3 月例会はございません 森繁 072-333-5001

★その他の本部行事に等についての開催の有無は、「天理教ホームページ」「天理教布教部ホームページ」などをご参照ください。

《支部活動連絡》

◎布教部

★定例にをいかけデー（毎月 28 日）※雨天中止
3 月 28 日（土）**13 時** 河内松原駅前交番横広場
・服装自由・チラシは各自・路傍講演は有志で。

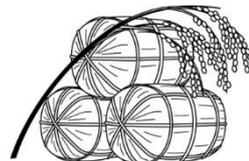
松原支部なんでもたすけあい隊

高齢で動けない、ちょっと手伝ってほしい等お困りの場合ひのきしん出動します。
本芝福分教会 ☎331-0007
小松崎 義博 ☎090-4301-7792

◎ひのきしん部

春の献米 3 月 26 日

松原支部でまとめておちばへ持っていきますので、3/24 迄に組長宅までご持参ください。※個人で持っていきますと非常に混雑しますので…。



松原支部 地域ひのきしん 【 】は前月参加人数

河内天美駅前広場	第 1 日曜	5 時～6 時	【5 名参加】
天美北児童公園	第 2 日曜	9 時～10 時	【8 名参加】
阿保公園	第 3 日曜	7 時半～8 時半（雨天中止）	【1 名参加】
阿保東部第一公園	第 4 日曜	9 時～10 時	【4 名参加】
河内松原駅周辺	毎週土曜日	8 時（15 分～30 分位）	【累計 3 名参加】



立教 183 年 全教一斉ひのきしんデー

4 月 29 日（水）場所：松原中央公園（除草・清掃）

8 時半（集合・受付）

9 時開始～11 時頃迄（開催挨拶・実動・終わりの挨拶）

★当日は午前・午後と「献血ひのきしん」もさせていただきます。

視点 日々月々のおつとめに心を込めて(天理時報 立教183年3月1日号より)

新型コロナウイルスの感染拡大が続いている。連日の報道に接する中で沈んだ気持ちになりがちだが、この機会に原典を紐解(ひもと)き、今回の感染症による一大事にこもる親神様の思召を思案してみたい。

歴史上、お道と最も関わりがあった感染症は疱瘡(ほうそう)だと思われる。疱瘡とは天然痘(てんねんとう)のことで、古い時代から何度も大流行して多くの尊い人命を奪ってきた。『稿本天理教教祖伝』には、教祖31歳のころ、預り子が疱瘡に罹り、黒疱瘡という絶望的な状態になったとき、八百万(やおよろず)の神々に願いをかけられ、奇跡的に子供が治癒したことが記されている。このお話から、疱瘡は誰がなってもおかしくない当時の感染症の代表格であったことが窺(うかが)える。慶応3年に教えられた「みかぐらうた」の五下り目には

ふしぎなたすけハこのところ おびやはうそのゆるしです

とあり、また「おふでさき」には、

このたすけどふゆう事にをもうかな ほふそせんよのまむりこしらゑ (八号31)

このたすけいかなる事とをもうかな ほふそせんよのつとめをしへる (七号98)

とのお歌がある。ひながたにおいて教祖は、「ほうそ」除けのお守りを渡され、また明治8年に「ぢば定め」がなされて、かんろだいのつとめを教えられると、続いて「おびやづとめ」と「ほうそつとめ」を教えられた。疱瘡のたすけは、「をびや許し」とともに親神様が現される不思議なたすけの、主たるものの一つと言えよう。さらに「おふでさき」では、疱瘡から人間が守られるための道筋も明らかにされている。

なさけないとのよにしやんしたとても 人をたすける心ないので

これから八月日たのみや一れつわ 心しいかりいれかゑてくれ

この心どふゆう事であるならば せかいたすける一ちよばかりを

このさきハせかいぢううハ一れつに よろづたがいなたすけするなら

月日にもその心をばうけとりて どんなたすけもするともゑよ (十二号90~94)

第十二号のこの一連のお歌は、よく引用される有名なお歌だが、これに続く次のお歌は、

このたすけどふゆう事にをもうかな ほふそせんよにたしかうけやう (同95)である。

世界中の人間が「人をたすける心」に心を入れ替えて、万事お互いにたすけ合って暮らすようになることが親神様の頼みであり、親神様は、人間の互いたすけの心を受け取って、疱瘡にならないように守護すると約束されている。

また「おふでさき」に見られる感染症には、疱瘡のほかにコレラもある。コレラは明治10年代に大流行して多くの人々を不安と混乱に陥れた。お歌では、

せかいにハこれらとゆうているけれど 月日さんねんしらす事なり(十四号22)

と、コレラが親神様の残念の現れであることが示されている。これに続くお歌では、

せかいぢうどこの人でもをなぢ事 いつむばかりの心なれとも

これからハ心しいかりいれかへて よふきづくめの心なるよふ

月日にわにんけんはじめかけたのわ よふきゆさんがみたいゆへから

せかいにハこのしんぢつをしらんから みなどこまでもいつむはかりで

月日よりよふきづくめとゆうのをな これとめたならさねんゑろなる (十四号23~27)

と、親神様の残念を治めるには、世の人々が心を入れ替え「よふきづくめ」の心に成ることを求められている。以上、感染症をキーワードに神意をたずねてみた。

お道の信仰者として、まず自らが「人をたすける心」「よふきづくめの心」への心の入れ替えに努め、日々月々のおつとめに心を込めて事態の治まりを祈願したい。(諸)